

令和4年度事業報告

■運営の概要

平素より全国の会員、指導者の皆様には、才能教育運動推進のため多大なるご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

令和4年度の事業が終了しましたので、その概要をご報告いたします。

コロナ禍による行動制限が強かった令和4年度は、感染拡大状況を見極めながらの運営となりました。例年6月に開催している全国指導者研究会は3年振りに対面での開催が可能になりました。オンラインで参加される方もありましたが、一堂に会する喜びを再確認しながら様々な研究プログラムが実施されました。

一方、対面とオンラインのハイブリッド開催を計画していた夏期学校は、直前に全国的な感染拡大期に入ったため急遽オンラインのみの開催を余儀なくされました。現地参加を予定されていた皆様には大変大きなご負担をかけることとなってしまいました。参加者の安全を第一に考え苦渋の選択をいたしました。急な変更にもかかわらず参加していただいた生徒さん、対応していただいた指導者の皆様に心より感謝申し上げます。

感染状況が落ち着いた3月には、ピアノ科卒業式と記念演奏会が4年振りに対面で開催されました。代表生徒による演奏と卒業証書授与のみという制限はありましたが、課題曲を卒業した生徒さんの笑顔があふれる卒業式となりました。

様々な活動が再開される一方、会員数の減少という課題が続いています。特に今年度は新入会者数が大きく減少したほか、指導者数の減少も続いています。コロナ禍による社会の停滞という事情があったとはいえ、これ以上の会員減少は法人運営に大きな影響を与えてしまいます。その対応策として今年度は特に広報活動と指導者養成に力を入れました。広報活動では、新しいロゴマークや統一チラシ、看板等を作製してブランド力UPを図ったほか、各種SNSを通じた情報発信、オンラインを利用した保護者会員と本会役員の交流会や新任指導者の交流会など、新たな取り組みを行っています。また指導者養成については、受講生の受講料負担を軽減するなど指導者を目指しやすい環境を整えました。今後も本会発信で様々な広報活動を行っていきませんが、何と云っても保護者会員や指導者の皆様などの現場の声が大きな発信力となりますので、是非ともスズキ・メソードの情報発信にお力添えいただきたくお願いいたします。

私どもは公益法人として様々な事業を行っていますが、今年4月に長野県軽井沢町で開催されたG7外務大臣会合の際には、長野県からの依頼を受け歓迎演奏を行い国際親善の一翼を担いました。また昨年12月には愛知県大府市とバイオリンによるまちづくりの推進に関する協定書を締結し、相互協力のもと音楽文化の発展に寄与していくことになりました。これら長年にわたる本会の活動が評価され、昨年11月に令和4年度地域文化功労者文部科学大臣表彰を受賞することができました。これからも音楽教育に留まらない全人教育の推進者として公益活動に邁進していきたいと思っております。

2020年1月から続いた新型コロナウイルス感染症は2023年5月に感染法上の分類が見直され、大きな転換期を迎えました。この3年半の間、本会も大きな制限の中での活動を余儀なくされました。ウイルス自体が無くなった訳ではありませんが、世の中もコロナ後の世界へと大きく動き出したので、本会も感染予防に気を付けながらも活気ある才能教育運動を推進していきたいと思っておりますので、皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

■公益目的事業報告

I 講座、セミナー、育成

(1) 第71回夏期学校

開催期間：令和4年7月29日（金）～8月1日（月）

開催方法：オンライン

参加（登録）生徒数：551名

参加（登録）指導者数：450名

参加（登録）生徒数

| | V科 | C科 | F科 | P科 | 合計 |
|-----|------|-----|-----|------|------|
| 生徒数 | 346名 | 50名 | 17名 | 138名 | 551名 |

対面とオンラインのハイブリッド型で開催する計画でしたが、開催直前に新型コロナウイルス感染症の第7波と呼ばれる感染拡大期に入ったため、完全オンライン開催への変更を余儀なくされました。

急遽オンライン開催となりましたが、教室別レッスンやグループレッスン、おけいこ相談や夏期学校俳句コーナー、唯一観客を入れて開催した特別講師によるコンサートなど、感染予防対策と工夫を凝らしての夏期学校となりました。

(2) 2022年全国指導者研究会

開催日程：令和4年6月6日（月）～6月9日（木）

開催方法：対面およびオンラインのハイブリッド開催

参加（登録）指導者数：現地参加158名、オンライン参加366名

新型コロナウイルス感染症のため2年間にわたりオンラインで開催して来ましたが、今回3年振りに対面を含めたハイブリッドで開催することができました。

久しぶりの交流を喜びながら、特別講師による指導やコンサート、招待講師による講演会など、様々なプログラムに取り組みました。

(3) 0～3歳児教室

開催日程：通年

開催場所：直営教室（郡山、大府、多治見）

自主運営教室（麻布十番、所沢、鎌倉藤沢、津田沼豊洲、長野、松本、富山高岡、名古屋、一社、西宮さんだ）

0～3歳児とその保護者を対象に全国で教室を開設し、令和4年5月末日現在120組（直営15、自主運営105）の親子が受講しています。

また、0-3歳児コース事業検討委員会を設置して指導者養成やカリキュラム等の検討や事業の重要性の確認を行ったほか、特別講師監修による専用教材の作製を進めました。

シンポジウムの開催、参加

令和4年6月5日（日） グローバル化を目指す「0～3歳児コースプログラム」の理解と研究を深める

令和4年8月6日（土） スズキ・メソード幼児教育研究会主催のシンポジウムに参加

令和4年10月23日（日） 私たちが大切にしていること つたえたいこと

令和5年3月5日（日） 一茶の俳句集を題材とした宮坂顧問の講演会

0-3歳児コース事業検討委員会

令和4年10月14日（金）、12月28日（水）

令和5年2月16日（木）、3月24日（金）、5月18日（木）

教室長会議

随時

(4) 生涯学習教育

子どもに限らず、大人も音楽に親しむ機会を作るため、専用の HP を公開して教室案内を行っています。

(5) 准指導者制度、初級指導者制度による指導者養成

開催日程：通年

開催場所：研修生在住地域 他

スズキ・メソードの指導者認定を目指し、准指導者養成制度研修生 5 名（V 科 4 名、P 科 1 名）が日々研鑽を積んでいます。

また、次の方が新たな指導者認定を受けました。

正指導者認定者 鈴木佳都紗(C)、新田かおり(P)

准指導者認定者 ナイモン絵里加(P)、森 久乃(P)、米田 彩子(P)

初級指導者認定者 林 裕美子(P)

(6) 卒業検定

開催日程：令和 4 年 10 月～令和 5 年 3 月

生徒の目標と意欲作りを目的に卒業検定が行われ、下記のとおり卒業認定されました。

昨年からオンラインでの提出が可能になり、今年度も半数以上の方がオンラインで提出されました。

令和 4 年度卒業生数

| | ヴァイオリン科 | | チェロ科 | | フルート科 | | ピアノ科 | | ヴィオラ | | 合計 | |
|-------|---------|------|-------|-----|-------|-----|---------|------|------|-----|---------|------|
| | 卒業生 | 昨年比 | 卒業生 | 昨年比 | 卒業生 | 昨年比 | 卒業生 | 昨年比 | 卒業生 | 昨年比 | 卒業生 | 昨年比 |
| 前期初等科 | 364 名 | -32 | 47 名 | -2 | 5 名 | -6 | 311 名 | -87 | 0 名 | 0 | 727 名 | -127 |
| 初等科 | 335 名 | -35 | 29 名 | -12 | 4 名 | 2 | 255 名 | -45 | 0 名 | -1 | 623 名 | -91 |
| 前期中等科 | 305 名 | -19 | — | — | 3 名 | 1 | 199 名 | -4 | 1 名 | -1 | 508 名 | -23 |
| 中等科 | 238 名 | -75 | 31 名 | -4 | 6 名 | 3 | 126 名 | -14 | 1 名 | 0 | 402 名 | -90 |
| 前期高等科 | 225 名 | -49 | 21 名 | 1 | 2 名 | -2 | 97 名 | -2 | 0 名 | 0 | 345 名 | -52 |
| 高等科 | 200 名 | 14 | 21 名 | 3 | 3 名 | -1 | 59 名 | -11 | 0 名 | 0 | 283 名 | 5 |
| 課程卒業 | 97 名 | -36 | 11 名 | -4 | 3 名 | 2 | 39 名 | -24 | 0 名 | 0 | 150 名 | -62 |
| 研究科 A | 78 名 | -16 | 11 名 | 3 | 1 名 | 0 | 44 名 | -12 | 0 名 | 0 | 134 名 | -25 |
| 研究科 B | 79 名 | 0 | 9 名 | 0 | 1 名 | 1 | 39 名 | -21 | 0 名 | 0 | 128 名 | -20 |
| 研究科 C | 48 名 | 1 | 8 名 | 2 | 0 名 | 0 | — | — | 0 名 | 0 | 56 名 | 3 |
| 合計 | 1,969 名 | -247 | 188 名 | -13 | 28 名 | 0 | 1,169 名 | -220 | 2 名 | -2 | 3,356 名 | -482 |

(7) 国際ティーチャートレーナー会議開催準備

令和 5 年 10 月 13 日（金）～15 日（日）に松本市で開催する国際ティーチャートレーナー会議に向け、国内担当指導者へのティーチャートレーナー制度説明会を実施したほか、実行委員会や各楽器科において開催準備を進めています。

II 調査、資料収集

(1) 資料収集と整備及び公開

スズキ・メソードの情報発信のため、機関誌と才能教育通信を刊行したほか Web マガジンの MonthlySuzuki を毎月 1 日に配信しました。

機関誌 213 号～215 号、通信 797 号

MonthlySuzuki 記事 89 本

資料整理とデジタル化作業

過去の音声や映像、文書等を長期保存するためのデジタル化作業を進めました。

(2) 指導者による研究

教育部運営委員会（全てオンライン開催）

令和4年9月15日（木）、10月25日（火）、12月15日（木）

令和5年1月23日（月）、3月9日（木）、4月20日（木）、5月25日（木）

指導者から選出された委員により、教育部に係わる事業、制度等に関する検討を行いました。

ヴァイオリン科研究会

令和5年 1月28日（土）対面およびオンライン、4月30日（日）オンライン

チェロ科研究会

令和4年 12月1日（木）～2日（金）対面

フルート科研究会

令和4年 12月4日（日）オンライン

令和5年 5月13日（土）オンライン、5月15日（月）オンライン

ピアノ科研究会

令和5年 5月28日（日）対面

スズキ教育法研究会

令和5年 3月8日（水）オンライン、5月26日（金）オンライン

令和5年3月、5月 指導者通信 tutti 発刊

各科委員会 随時

(3) 東京大学との共同研究

音楽の習得や演奏評価に関係する脳メカニズムを特定するために、東京大学大学院総合文化研究科の酒井邦嘉教授と共同研究を進めています。

これまでの研究成果としての論文発表や、本会内での講演、記事掲載などを受け、5年間の継続を決定し更なる研究を進めています。

III 主催公演

(1) ピアノ科卒業記念演奏会

令和5年3月19日（日） 東海、北陸越地区

三井住友海上しらかわホール

令和5年3月21日（祝） 甲信地区

才能教育会館ホール

令和5年3月26日（日） 関東、北海道・東北地区

板橋区立文化会館大ホール

令和5年3月30日（木） 関西、中国・四国、九州、沖縄地区

東りいたみホール大ホール

代表生徒による卒業証書授与式と演奏を各ホールで行い、その模様を後日 Web 配信しました。

コロナ禍では制限せざるを得なかった対面での演奏や証書授与が4年振りに実施され、卒業生の素晴らしい演奏と笑顔があふれる機会となりました。

(2) スズキチルドレンピアノコンサート

令和5年5月28日（日） 東海市芸術劇場

ピアノ科の地区代表生徒20名によるコンサートを開催しました。

5年振りに対面での開催が可能となった今回も、全国から選ばれた生徒による素晴らしい演奏が披露されました。

IV 助成

(1) 奨学金事業

受給申請がなかったため、今年度は実施しませんでした。

V 地域文化活動協力

(1) 情操教育事業（松本市内において通年）

松本市と共同で市立幼稚園・市立保育園においてCD鑑賞を通じた情操教育事業を行っています。また、松本市近郊の指導者が中心となり、市内約半数の幼稚園・保育園を対象に訪問演奏を実施しました。

(2) 鈴木鎮一記念館の管理運営（通年）

松本市所有の鈴木鎮一記念館の指定業者として、来館者への対応等の管理運営を行っています。コロナ禍により制限していた歌声サロンを11月から再開しました。また、より多くの方にご来館いただけるよう、展示内容のリニューアルを進めています。

(3) 学校法人長崎日本大学学園との協力

スズキ・メソードを通して音楽を愛好し、高い演奏技術を持つ人材を育成し、また、抱擁能力のある人間性をつくる教育をもって地域文化の向上に貢献するため、長崎日本大学学園からの要請に基づき本会認定指導者を派遣しています。

(4) 学校法人博多学園との協力

学校法人博多学園の併設校博多高等学校看護科のスズキ・メソードによる音楽授業実施のため、本会認定指導者を派遣しています。

(5) スズキ・メソード幼児教育研究会との協力

幼稚園教育におけるスズキ・メソードの実践に協力するほか、本会認定指導者を派遣して園児に対する音楽指導を行っています。

(6) スズキ・メソード認定指導者派遣要請に対する指導者派遣

全国の幼稚園、保育園からの指導者派遣要請に応じて、本会認定指導者を派遣し正課プログラムとしてヴァイオリンの指導を行っています。

(7) 大府市との協定

令和4年12月22日（木）に大府市と「バイオリンによるまちづくりの推進に関する協定書」を締結しました。

今後は、相互に連携および協力して音楽によるまちづくり推進のため様々な事業を行っていきます。

VI 支援

(1) 災害支援（随時）

東日本大震災の災害支援の一環として10年間の計画で行ってきた郡山支部に対する支部運営費等の補助期間が終了しました。

今後は震災復興イベント等を計画して、引き続き支援を続けていきます。

VII その他

(1) 広報活動（随時）

委員会開催 令和4年6月14日（火）、7月20日（水）、9月7日（水）、10月27日（木）
12月13日（火）

令和5年3月16日（木）、4月15日（土）

・MonthlySuzuki や Facebook、Twitter、instagram、会員向け Web マガジン「Fruitful」などを通じて、積極的に情報発信を行いました。

- ・本会ロゴマークを作製し、それを使ったチラシ、パンフレット類の製作を進めました。
- ・会長や理事と保護者とのオンライン交流会を実施しました。
令和4年8月20日（土）、12月25日（日）
- ・新任指導者や准指導者研修生のオンライン交流会を実施しました。
令和4年12月2日（金）、12月4日（日）
- ・松本市内の私立幼稚園への訪問演奏会を実施しました。
令和4年11月24日（木）、11月25日（金）
- ・本会公式HPのリニューアル準備を進めました。
- ・全国の教室に掲示する統一看板の作製準備を進めました。
- ・スズキ・メソードの对外発信強化の一環として2022年度活動報告書の作製を進めました。
- ・その他、コロナ禍による制限で実施できなかった地区大会や楽器体験会、大人の生徒やOBOGを対象としたコンサートなどが全国の支部、教室で実施できるようになりました。

(2) 副教材販売（随時）

ピアノ科教則本など、指導に必要な副教材の販売を行いました。
また、教材のオンライン販売に向けたシステムの準備、課題の整理等を進めました。

(3) 代教事業（随時）

本会認定指導者が病気等により指導ができなくなった際の代教申請の受付と、本会認定指導者の派遣を行いました。

(4) 「おうちでおけいこ」動画の公開

各楽器科の初歩の教本を家庭で練習する際にお手本となる動画を会員限定で公開しました。

■収益事業

I 才能教育（スズキ・メソード）の関連商品の開発・企画・制作・販売

既存のスズキ・メソードの書籍・CD等関連商品の販売を行いました。

実施時期：通年

II 所有建物等の賃借等

本会が所有するスズキ・メソード研究所、吉祥寺教室、西武教室、埋橋住宅を貸し出して家賃収入を得るほか、才能教育会館のホールを貸し出して使用料を得ています。

実施時期：通年

■法人活動

I 会議

- (1) 理事会 令和4年7月1日(金)、7月24日(日)、8月22日(月)、11月20日(日)、
令和5年2月12日(日)、4月9日(日)
本会運営に係わる事項の検討、決議等を行いました。
- (2) 第11期社員総会
実施時期：令和4年8月22日(月)
令和3年度決算書類、理事選任などの議題を審議しました。
- (3) その他必要に応じた会議
実施時期：必要に応じて

II 国際スズキ協会および海外のスズキ協会との連携

- (1) 国際スズキ協会理事会への出席
実施時期：令和4年10月15日(土)、16日(日)、11月19日(土)、12月9日(金)
令和5年2月10日(金)
実施場所：オンライン
TERI代表理事の早野龍五会長が出席し議長を務めました。
- (2) 国際スズキ協会楽器科別委員会への出席
実施時期：令和4年12月9日(金)
実施場所：オンライン
C科委員会に中島顕先生が出席しました。

III その他

- (1) 令和4年度地域文化功労者表彰受賞
表彰式：令和4年11月15日(火)
場 所：京都府民ホール
芸術文化の振興、地域文化の振興に功績のあった団体として文部科学大臣表彰を受賞しました。
- (2) 大府市との協定調印式
調印式：令和4年12月22日(水)
場 所：愛知県大府市役所
大府市と「バイオリンによるまちづくりの推進に関する協定書」を締結しました。
- (3) 鈴木鎮一先生、ワルトラウト夫人追悼ミサ
実施日程：令和5年1月28日(土)
実施場所：カトリック松本教会
コロナ感染防止に関する教会の指導に沿い関係者のみで執り行いました。